

# 防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会  
会報 第91号(2014.10.1)  
事務局川西地区自主防災会

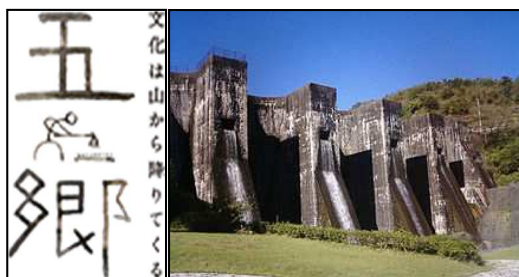
## 五郷地区の防災訓練

五郷地区公民館長 藤田 一

はじめに 8月に、丸亀市川西地区自主防災会の絶大な協力と御指導を得て、五郷地区全体としては初めての防災訓練を行い、多数の地域住民が参加して熱心に各訓練を行った。参加者は、それぞれに充実感や肯定感を得ることができ、感謝の声が、多数寄せられた。

### 1. 五郷はこんなところ <http://gogou.jp/> (五郷公式サイト GOGO五郷!)

- ・(文化は峠を越えて) 香川県西部の平野を潤す柞田川の源流域に、「五郷」という山の辺の里があります。古来、伊予、阿波、土佐へと通じる峠道として、様々な文物が五郷を通過して讃岐にもたらされました。
- ・(大野原の水源地) 五郷に造られた井関池、豊稔池、五郷ダムは、大野原町の水がめとして、流域の農業や日々の生活を支えてきました。
- ・(五郷の四季) 春には山菜と桜、初夏の新緑、夏は蛍や清流、秋には色々な作物の収穫と紅葉、冬は雪景色やみかんなど豊かな自然に恵まれています。
- ・(人口) 五郷の人口は899人(26,9,1現在)。1950年は2000人超。
- ・(面積) 面積約31km<sup>2</sup>で、観音寺市の約4分の1を占める。
- ・(地理) 香川県西端、四国のほぼ中央に位置する。愛媛県四国中央市、徳島県三好市に県境を接する中山間地域に佇む、井関、内野々、田野々、有木・落合、海老済・石砂の5地区を総称して五郷と呼ぶ。
- ・(歴史) 五郷という地名は明治に、つけられた。
- ・(主な産物) みかん、米、タマネギ、シイタケ、シャシャキ、ハナマツ、サカキ等
- ・(主な観光スポット) 井関池、豊稔池(石積式マルチプルアダム)、雲辺寺ロープウェイ、五郷ダム、法泉寺の三色紅葉、水車(落合：右写真)など



水車(落合)、石臼(水車小屋)

### 2. 五郷地区合同防災訓練の紹介

- (1) 実施日 平成26年8月24日(日)、9:00~12:30
- (2) 場所 旧五郷小学校体育館及び周辺
- (3) 主催 五郷地区合同防災会(事務局：五郷地区公民館)：五郷地区各自主防災会、自治会長、公民館役員、五郷消防分団、婦人会からなる五郷地区合同防災会

(4) 指導・協力 丸亀市川西地区自主防災会、市危機管理課、三観広域消防、水道局

(5) 日 程 9:00(避難開始サイレン吹鳴)

9:00~9:30(受付)、9:30~10:00(点呼、開会式)

10:00~11:35(6種類の訓練を15分毎のローテーションで実施)、ミニ消防車

11:40~11:55 放水訓練(五郷消防団)、見学

12:00~閉会式、アンケート記入、回収、炊き出し給食(婦人会が担当)

12:30(解散)、後片付け

(6) 訓 練 ローテーション訓練(6種類)

放水訓練(消防団)、炊き出し訓練(婦人会)、

ミニ消防車体験乗車(消防署)、展示(土嚢積み、防災機器)

(7) 訓練参加者数 五郷地区住民 200名







ロープワーク・ロープ投げ



ミニ消防車



放水訓練



給水車



炊き出し訓練



### 3. アンケート結果のまとめ

(1) 訓練参加者の年代・訓練の参加者の内、60歳代、70歳代で約半数を占め、80歳代も5%が参加するなど、高齢の方も多数積極的に参加してくれた。



(2) 参加者の感想・訓練に参加して非常に良かった(約60%)、良かった(35%)と合わせて85%であった。多数の参加者が訓練を体験したことへの充実感や訓練内容に対して肯定的に評価していた。

(3) 良かった訓練・1位(応急手当)、2位(心肺蘇生・AED)、3位(担架搬送)の順であったが、その他の訓練にもかなり多数の回答があった。特に不人気の訓練はなかった。

(4) 今後の訓練の参加希望・93%が訓練にまた参加したいと回答。参加したくないは0%。



次回の訓練に対する期待も強く示されたと言える。



(5) 五郷地区で一番心配な災害・

1位(土石流災害・道路寸断、孤立)、2位(地震)、3位(洪水・池・ダムが決壊)

(6) 参加者の感想、今後希望する訓練(記述式回答)

- ・丸亀川西防災会の皆様にお礼を申し上げます。川西防災会の熱心さが素晴らしい。
- ・関係者の苦勞に感謝します。お世話になりありがとうございました。(2名)
- ・今後役に立つ。分かりやすくて非常に良かった。分からないことが分かった。(5名)
- ・今までに訓練に参加したことがなかったので、非常に勉強になりました。(4名)
- ・危機感を感じる一日でした。これから今日の訓練を生かしていきたい。
- ・聞くだけでなく体験できたことがよかった。実践的でよかった。(3名)
- ・また来たいです。楽しかったです。参加してよかった。(4名)
- ・少し自信ができたように思う。少しは役に立つと思います。(2名)
- ・有意義な訓練だった。自分にできることを少しでもやっていたと思いました。(2名)
- ・とてもよかった。今は覚えているが、実際にその時になればできるかどうか不安です。
- ・少し時間が短すぎて、すべての訓練の話を十分に聞くことができなかった。
- ・訓練時間をもう少し長くとして、ていねいに教えてほしい。(2名)
- ・バケツリレーがおもしろかった。
- ・いざとなったときの応急処置の方法が非常に良かった。
- ・心肺蘇生・AEDを実際にやると思うと怖いです。AEDはまた訓練したい。
- ・山奥にAEDがない。設置が必要だと思います。
- ・公共施設でAEDを保管している場所が夜間でも利用できる場所にしてほしい。
- ・各地区にAEDを設置していただきたい。特に山間部では救急車到着に時間がかかるし道路遮断で孤立する可能性がある。
- ・ロープの結び方をもう一度おさらいしたい。どのような災害があっても対応できるよ





うにいろいろな訓練を計画していただけたらと思います。ありがとうございました。

- ・各地区にて防災の連絡体制をつくるのがまず必要だと思う。(2名)
- ・災害が発生した場合に自治会で、どのような流れで連絡を取り合うのか明確にしてほしいです。年1回は訓練が必要だと思う。(4名)
- ・これからは家族みんなで参加したいと思います。”
- ・今後希望する訓練・孤立したときの対策について。止血方法について。孤立するのが不安です。大雨等の時、避難する目安について教えていただきたい。地震に対する訓練。災害時の処置を具体的に取上げてほしい。避難訓練・どこに避難すればよいか。避難場所を決めておく。(2名)。
- ダムのハザードマップの作成(2名)。非常食(3名)

#### 4. 今後の防災訓練計画、地域の課題

##### (1) 地域の課題等

- ・五郷は広く、河川や避難所等の地理的状況が、それぞれの地域で異なっているため、避難訓練を一斉に行う事は難しい。避難訓練や災害時要援護者のことなど課題は多い。
- ・過去の土石流災害の後、砂防ダムの建設など対策が講じられたが、危険渓流の指定が外れていないため、公共施設の避難場所がない地域もある。
- ・五郷地域にはAEDを設置している場所がJA五郷支店1箇所である。特に山間部では救急車到着に時間がかかる。また道路遮断で孤立する可能性がある。AEDの各地区への設置が必要である。
- ・洪水や土石流による孤立の対応も課題である。

##### (2) 今後の防災訓練計画

- ・参加者の声やアンケート結果に示されているように、防災訓練を次年度以降も継続して実施することに強い期待が寄せられている。
- ・次年度も、訓練内容を関係者で検討し、より効果的な防災訓練を実施したいと考えている。
- ・早めに危機管理課や関係機関の協力を得ながら次年度の訓練実施に向けて進めたい。

終わりに 共助には、「顔の見える関係」が大切と言われる。防災訓練を通して、日頃疎遠になりがちな地域の方々の交流が一層広がり、相互理解がより深まることを期待したい。



井関池から雲辺寺山を望む

## < 愛読者誌面インタビュー >

この度は、会報発行の都度、お礼状をいただくなど「防災減災の輪」をご愛読いただいております高松市在住の徳増育男さんより、「防災減災の輪」の感想や今後に向けてのご意見をお伺いしました。



毎月、「防災・減災の輪」を送付して頂き、本当に有難うございます。

毎月、私は読むのが楽しみで心待ちにしております。では、以下の率直な意見を述べさせていただきます。

失言があった場合、お許し下さい。

H26. 9. 10 徳増

### 1. 会報の感想

毎月、防災・減災について多種多様な考え方があり、大変興味深いものがあります。私は阪神淡路大震災を体験して、日本道路公団にて、不眠不休で復興に携わり、今でも防災・減災についてのバックボーンとしています。

自然災害については、私たちは謙虚に学び、備える姿勢が大切です。会報はいつも折に触れてバックナンバーを読み直しています。

企画・編集にあたっておられる方に感謝致します。



### 2. 編集内容について

内容についてはテーマから堅苦しくなるのは仕方がないと思います。

写真、カット等によつての工夫があれば、もっと内容がバラエティになると思います。

### 3. 今後の内容について

自然防災が連携して、県内至る所で防災・減災に取り組むことが大切であり、連携強化を理念として、お互いの情報共有ができるような役割をお願いします。

### 4. 自主防災の活動の活性化について

川西地区自主防災の皆様の長年にわたる活動について敬意を表します。

人それぞれ防災についての思いが異なるようにこれから必要なのは、多様性・寛容性が求められるのではないのでしょうか。

若い人が中心になって自立できるまでは現世代が橋渡しをしなければ・・・。

### 5. 取組みについて

岩崎氏を始め、川西地区自立防災の方々にお礼を述べます。感謝の念で一杯です。

以上

今月の事務局だよりは、自然塾全国大会の様子をお伝えします。

## 第16回自然塾全国大会 in 鶴岡

第16回をむかえた自然塾全国大会は、出羽三山で有名な山形県の月山、羽黒山で行なわれました。9月19日（金）初日は、鶴岡市内の「まちなかキネマ」という古い映画館を借りて全国大会の公開講座と月尾塾長とクラゲ水族館で有名な加茂水族館の村上館長との対談、続いて全国の塾より活動報告、その後場所を移動して交流会があり初日は終了。



2日目は、全員山伏姿に着がえて、修業体験コースに参加

### ①山伏初級篇（月山コース）

1,984mの月山に、若手4人がチャレンジ。山伏スタイルで往復6時間の山岳修業に力を合わせて頑張りました。



### ②観光体験篇（羽黒山コース）

海拔414m、2,446段の本段と樹齢500～1,000年の杉並木、その数580本は国の特別天然記念物に指定されており、この修業道も冷厳あらたな雰囲気です。山頂には、重要文化財の「三神合祭殿」、月山、羽黒山、湯殿山の三神を祀る豪壮な建物と重さ10トンを超える大鐘とこれを吊っているヒノキ造りの鐘楼は1,000年の歳月をこえ、周囲を圧倒している。頂上での参拝行事後、下山して、「南蛮いぶし」と「火渡り」修業に挑戦。このコースには20名が参加。小生（岩崎）もこのコースに参加。南蛮いぶしは、ガマンくらべといった具合でした。



羽黒山山麓から見た庄内平野、お米の取り入れどきか黄金色のとても広く素晴らしい景色が広がっていました。近道だといって通行した農道も県道並みに広く、交差点には信号機がっさい無く、誠にゆうゆうたる山形県の姿を垣間見ました。



尚、来年は、11月に高知県四万十市で「四万十川僻村塾」主催において開催されます。

## 編集後記

今月の防災減災の輪は、五郷地区公民館長藤田 一様、高松市の徳増育男様の原稿を掲載させていただきました。ありがとうございました。